



新婚旅行に日本を選び、国賓として訪日されました。

大震災と原発事故で在日外国人の大半は日本を去り、訪日観光客は激減、そのような中で日本訪問を選択して戴き、さらには相馬市を訪れ、津波による犠牲者の冥福を祈られ、桜ヶ丘小学校で「皆さんの中に人格という竜がいます。年をとって経験を積むほど竜は大きく強くなります。」と語りかけてくれました。

東京、京都でも各地各施設を訪れ優雅で爽やかな言動に周りは聖霊に打たれたような爽やかさを感じ、日本国中に類笑みと感動の輪を広げてくれました。

グローバル化の時代、物質文明をひたすら追いつけてきた国民は一寸立ち止まり、これからナニを求めるべきなのか、考え込んでしまう一時でした。

物質に頼らぬ、大自然の中で国民の幸福度（GNH）97 %というユートピアがこの世界にあることに衝撃を受け、きっと幸福の青い鳥はブータンの空を飛翔しているのでしょう。

先日、我が国の都道府県別「幸せ度」ランキングで最高位は福井県、二位富山県、三位石川県が選ばれ、この三県は毎年発表されるランキングでも不動の上位、最下位は大阪府、42位京都府、38位東京都、大都会は軒並み低位です。

世界の幸福度ランキングでは、1位デンマーク、2位スイス、8位ブータン王国（アジアでは1位）、我が日本はなんと90位で中国、韓国よりも低位です。ただし、負け惜しみを言えば選考基準によって大きく替わりますから、あまり落ち込まないで下さい。

激動の2011年も暮れようとしています、「幸せとはナンド？」「満足とはナンド？」と考え込んでしまった晩秋の1時でした。（次回は除染作業についてです）